Embassy of Japan
in the Kyrgyz Republic

日本政府による対キルギス無償資金協力の署名交換・文書披露

６月１３日（金）、キルギス共和国の首都ビシュケクにおいて、合田秀樹駐キルギス共和国日本国特命全権大使と、アルマズ・バケタエフ・キルギス共和国財務大臣（H.E. Mr. Almaz BAKETAEV, Minister of Finance of the Kyrgyz Republic）との間で、キルギスに対する無償資金協力（「経済社会開発計画」（医療コンテナ２台の供与）に関する書簡の署名・交換が行われました。

「経済社会開発計画」は、総額５億円で実施される予定です。キルギスの地方、特に町から離れた地域に住む住民は、医療機関へのアクセスが難しく、適切な検査や治療を適時に受けることが困難な状況にあります。この協力はＣＴスキャンやＸ線機材等の医療機材を搭載し巡回医療が可能な医療コンテナ２台を供与することで、地方在住の方々の医療サービスへのアクセス強化を図るものです。地方の保健・医療体制の強化を通じ、同国の経済社会開発に貢献することが期待されます。